



なかにし ひでとし  
中西 秀俊  
(創政会)

- 奥州病院へ江刺の診療所の運営を要請
- 江刺東中学校体育館水洗式の洋式便座へ交換工事

**質問** 江刺区内診療所は来年から廃止するとしているが、遠隔地の交通弱者や高齢者のフォローと、へき地医療に取り組みうとする病院への支援策は。

**市長** 現在、医師派遣を頂いている奥州病院の経営としてお願いし、江刺区内4診療所の運営を要請している。支援策は奥州病院から回答を得た後に検討する。提案の移動診療車（ドクターカー）による移動診療所の設置は、有効な手立てと考える。

**質問** 古くなった学校の洋式トイレの設置と、水洗化については予算を確保し、環境整備すべきでは。

**教育委員長** 小、中学校の校舎はすべて水洗化で、洋式トイレの導入は最低男女一つ以上は導入してきた。生徒優先で職員トイレは我慢して頂いている。江刺東中学校体育館のトイレについては、水洗式の洋式便座への交換工事を予定している。

**質問** 市道の現道舗装事業は、小集落の生活のため、その役割は大きい。さらに、大雨による路面洗掘防止対策にも、予算の

確保が必要ではないか。

**市長** 江刺区内の現道と改良舗装は、新市建設計画で合併時から平成27年度までの10カ年の事業期間で、4億7千万円余と、地区要望を考慮し優先順位の高い路線から整備を進めている。雨の洗掘防止策として路面を舗装で覆う事も、対策の一つとして採用を検討していく。

**質問** 江刺田瀬IC開設で、市内に向かう県道玉里梁川線の交通量が増えているが、館下バイパスの整備は。

**市長** 県道が通る集落で、十分な幅員が確保されず、歩行者の安全面や車両の往来に不便をきたしている。地元振興会の要望があるバイパス整備を県に強く求めている。



車両すれ違い状況(県道玉里梁川線)



おの でおら しげし  
小野 寺 重  
(創政会)

- 国道4号の整備促進の見通しは
- 地区要望を聞く会の実態は

**質問** 水沢東バイパスは、平成4年に着工し20年間で60%の進捗率と認識している。これにより前沢区折居交差点の渋滞はさらに激しくなり、円滑な通行ができず、古城地区振興会の重要課題でもある。渋滞を解消するには、水沢東バイパスと前沢バイパスを直結するのが最大の効果であり、市を挙げて取り組むべきと考える。

**市長** 東バイパス整備促進期成同盟会を設立し要望活動を行っており、今年度は用地費に2億5千万円、工事費に1千万円、昨年の3倍の3億円の予算がついた。前沢区折居交差点の渋滞解消整備に調査設計費の百万円が計上され、事業実施に大きく前進したものと思っている。今後も国道4号水沢東バイパス整備促進期成同盟会と連携し進めていく。

**質問** 市政の円滑な推進と、各自治区の均衡ある発展に資するため、各地区の重要な課題、要望を把握し市政に反映させるた

めに各区で要望を聞く会が開かれた。平成24年度は奥州市全体で385件の要望があり、Aランク（すぐやります）が19%で72件となっている。一方6振興会ではAランクが一つもなかった。地区の重要課題でありながらと嘆いている。「このような要望会なんてやめよう」という声さえ出ている。ランク付けの基準はどうなっているのか。

**市長** 次の3点に留意しながら取り組んでいる。一つには子ども、高齢者、障がい者などの弱者対策。二つには地域の自立活動。三つには道路維持補修費用枠の設置等である。



国道4号折居交差点 渋滞解消が急務